



〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町2471-48
 電話・FAX 045-410-7307
 E-mail: mail@zenryouji.jp http://www.zenryouji.jp
 発行責任 善了寺 還る家とともに 12月担当：溝口

天高く馬肥ゆる秋



秋の爽やかな風と、暖かな日差しにとても心地よさそうです。

日に日に寒さが増し、秋が深まってまいりました。木の葉も色付き、ちまたではたくさんの秋の味覚も並ぶようになりました。ついこの間まであんなに暑かったのがウソのよう…。

11月に入り、舞岡公園の木々がきれいになっていると聞き、数日に分けて利用者みなさんと紅葉狩りに出かけました。風があって少し肌寒い日もありましたが、どの日も天気よく、色鮮やかな紅葉を満喫することができました。



スタッフのつぶやき…



日に日に寒さが増して来ましたが皆様いかがお過ごしでしょうか？

今年の五月から子連れ出勤をさせて頂いています土田ですが、火曜金曜の利用者の方しかお会いしていないため、ご家族の方も含めお会いしたことのない方が多いかと思ひます。以後、お見知り置きを…よろしくお願いします。

これを書いている今現在、11月22日山梨県の金峰山という山奥に来ています。標高1500メートルに位置するこの場所は、日が落ちると氷点下5度よりも下がり、一昨日には雪も降ったとか。冬期には閉鎖してしまうこの山荘に30数名の他人が集まり…本日は星空観望会…！！

(寒い…なんて物好きな…)寒さが苦手な私には、わざわざそんな所でやらなくても…と思うのですが。街の明かりが邪魔することない山奥で、空気の澄んだこの季節は星空を観るのに都合がよろしいのだそう。知識はないながら、星空をみるのは少しロマンチック…なんてのこのこと付いてきましたが、少々後悔気味。ただ、個人が山奥で望遠鏡を出して観望しているのは悪人や熊や鹿などに遭遇して危険だけれど、同じ趣味の人が集まるこの会なら安全。

(極寒の)夜空の下、火を焚き甘酒等を飲みながらの静かな静かな時間が流れていきます。時折聞こえる悲鳴のような音は、どうやら鹿が泣いているらしい。晴天のおかげで一面の星空！地球が丸いことが、改めて感じられます。星空が丸いんです！

【裏面へ続く】

【スタッフのつびやき 続き】

星々の色や温度や何万年離れている話などを教わりながら空を見上げていると、流れ星がこっちにあっちに流れて、吐く息が白くて。手や耳がかじかんでできますが、地についた足や、空間にある手や、自分の心臓の鼓動を感じて 生きてる 立ってる 山梨の関東の日本の地球の…と自分が立っている位置を再確認。星空に手が届きそうな錯覚をしたり、急に人間のちっぽけさを実感したり。そして…普段の生活のいろんな悩みや見た目や世間体などが馬鹿らしく思えてきます。

「生きてるってすごい。」

そして、こんな当たり前の事をポジティブに確認できるってありがたい。この頃の私は、文句ばかり、批判ばかり口にはしなかっただろう。急に肩の力が抜けて、自然に深呼吸をしました。吐く息が暖かい。楽に行こう。

人生一度しかないのだから楽しい方がいい…そんな風に思えた夜でした。翌日温かいものを食べながら、時折非日常に身を置くのもいいものだなあと思いました。

お知らせ

スタッフの皆川美奈さんですが、私事にて11月をもって退職されました。

行ってきました♪



11月9日にとつか宿駅前商店会の旅行に行ってきました。

千葉県にあります酒蔵と大山千枚田を見学し、その後、保田の食堂で浜焼きを食べて来ました。



当初は雨の予報で朝まで雨が降っていましたが、現地では雨もやみ、若干晴れ間も見え、楽しい旅行となりました。

年末年始の営業のお知らせ

今年の最終営業日は12/29(月)です。

12/30(火)～1/4(日)はお休みをいただき、

営業開始は2015年1/5(月)となっております。

何卒よろしく願いいたします。



ボランティアさん

善了寺に関わってくださっている沢山の方々にデイサービスは日々支えられています。事業所移転後ご利用者の皆さまと心地よく過ごすことが出来ています。これも皆さまにご協力のおかげです。ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

中嶋芳江 安藤信子 竹中秀子 山下トキエ
西岡美都里 寺島美代 朝倉好子 別府与志子
濱崎芳子 市野和歌子 弓削福子
矢口和子 秦野雅子 米村正男 小寺久枝
江田峯子 中島雄子 村井ヒテ子 江尻伸子
鳥巢スエ子 牛島寛子 橋本淑子
長澤チヨ子 福寿貴美恵 犬塚照夫
松村節子 秦野宣子 大金スエ子
梅本忠男 小林ミエ 林ヨシ子 松田良子
森谷ヨシ 山田ヒロ子 増村隆 穴山よしお
乾隆子 内田佐知子 砂川元枝 長岡綾子
吉高友子

敬称略

編集後記

先日、食事づくりボランティアをしてくれている方と一緒に台所に立ちながら「お料理お好きなんですねえ?」とたずねると「え〜!そんなことないわよ。出来れば作りたくないわよオ!」と言われました。この方は、途中で、足をけがしてステッキをついて歩くほどでしたのに、月に1回、もう何年も来てくれています。そして、めずらしくて美味しい料理を披露してくれます。え〜??無理無理来てくれる?? 違いますよね。還る家ともこのことを助けたいと思う一心でしょう。本当に、本当に感謝感謝です。